

平成29年度 秋期利用適正化実証実験 アンケート調査の結果について

1.調査概要と解析サンプル

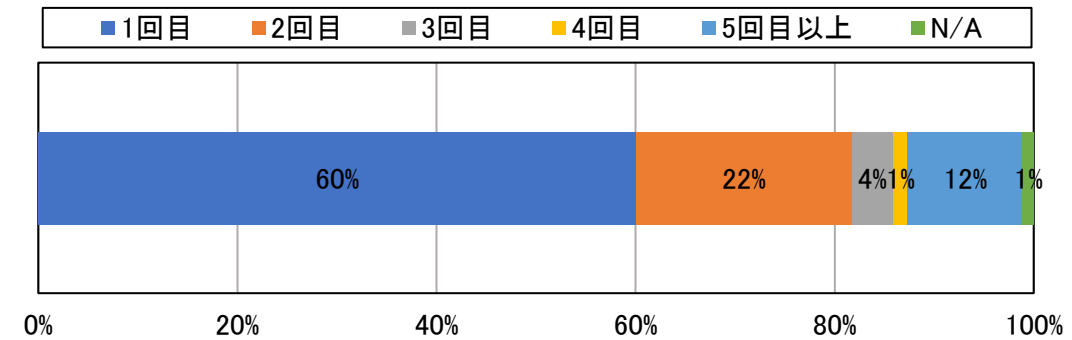
表1. 調査票の概要(複=複数回答、単=単一回答)

		利用者アンケート(D調査)
実施期間		10/21~11/12(23日間)
対象		地上遊歩道利用者全員(外国人除く)
手法		地上遊歩道利用後に現地記入・回収及び郵送回収
配布数/回収数		996部/268部
調査項目		A4 2P
	1.来訪回数	知床五湖への来訪回数(単)
	2.来訪動機	知床五湖への来訪動機(複)
	3.期間来訪動機	知床五湖への期間来訪動機(複)
	4.情報取得先	五湖の制度の情報取得先(複)
	5.散策評価	散策の評価(5段階評価) ①情報充実度②スタッフ対応③ヒグマ認識④静寂⑤再訪意思⑥紹介意思
	6.制度認知	制度の認知度(単)
	7.制度改定	制度改定への支持態度(単)
	8.制度改定不支持	制度改定への不支持理由(複)
	9.意見・感想等	制度への意見・感想(自由記述)
	10.属性	性別・年齢層・居住地(単)

2.集計結果

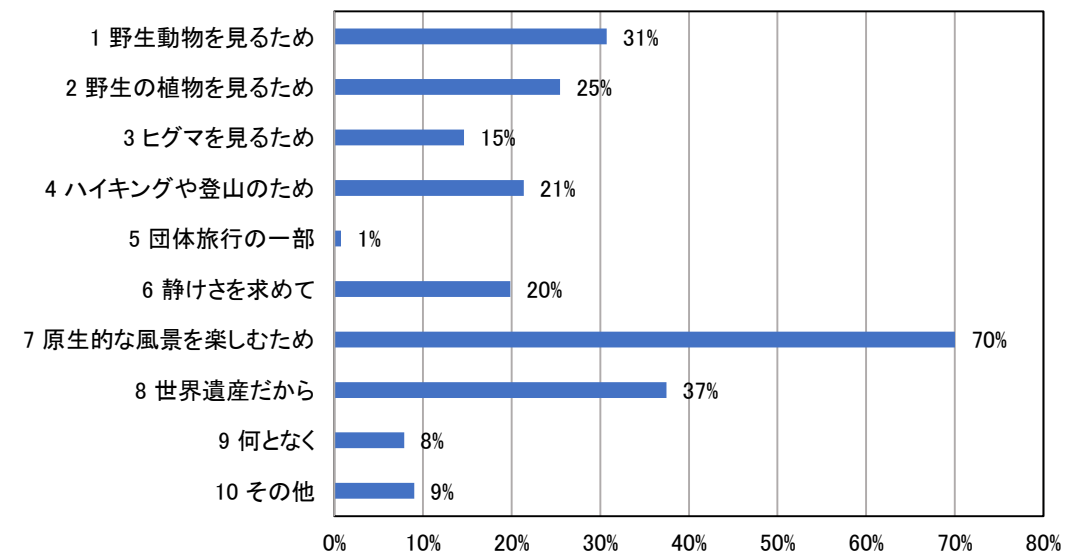
【利用者の動態】

1.来訪回数	度数	構成比
1回目	161	60%
2回目	58	22%
3回目	11	4%
4回目	4	1%
5回目以上	31	12%
N/A	2	1%
計	267	100%



・利用者のほとんどが初めての来訪、2回目以上のリピーターは全体の約4割であった。

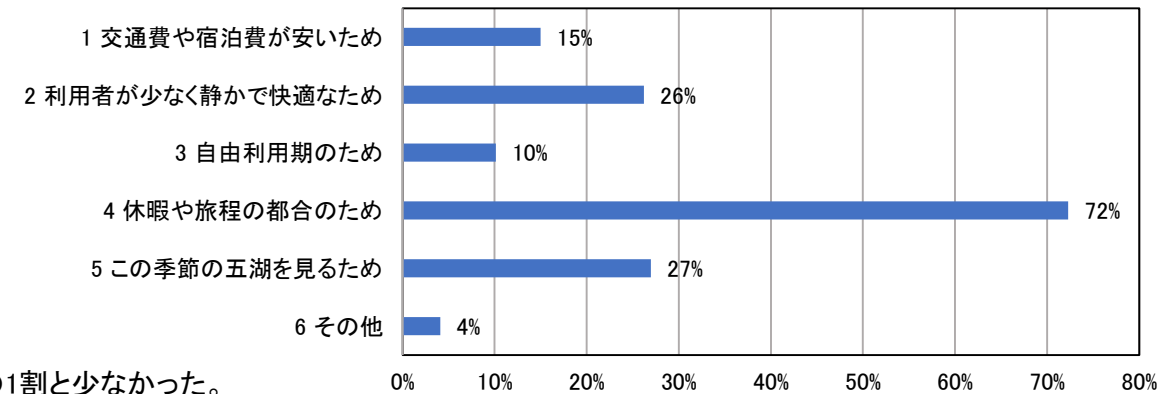
2.来訪の動機 (複数回答 n=267)	YES度数	割合
1 野生動物を見るため	82	31%
2 野生の植物を見るため	68	25%
3 ヒグマを見るため	39	15%
4 ハイキングや登山のため	57	21%
5 団体旅行の一部	2	1%
6 静けさを求めて	53	20%
7 原生的な風景を楽しむため	187	70%
8 世界遺産だから	100	37%
9 何となく	21	8%
10 その他	24	9%



・知床五湖の来訪動機について、各項目に「あてはまる」と回答した割合を表示。
・原生的な風景を楽しむために来訪する利用者が最も多かった。

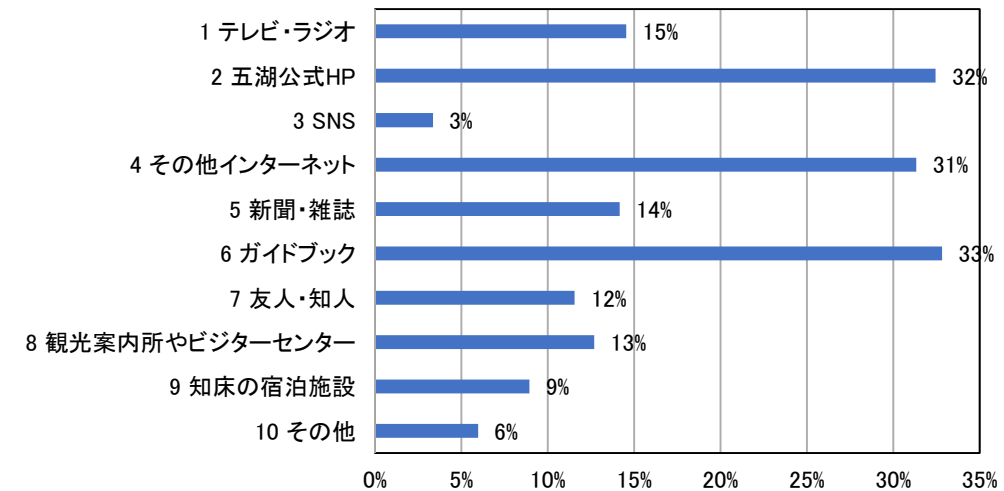
3.期間来訪動機 (複数回答 n=267)	YES度数	
1 交通費や宿泊費が安い	40	15%
2 利用者が少なく静かで快適なため	70	26%
3 自由利用期のため	27	10%
4 休暇や旅程の都合のため	193	72%
5 この季節の五湖を見るため	72	27%
6 その他	11	4%

- ・休暇や旅程の都合で秋期に来訪する利用者が最も多かった。
- ・レクチャーや手数料が不要な利用期であることを理由に来訪する利用者は全体の1割と少なかった。

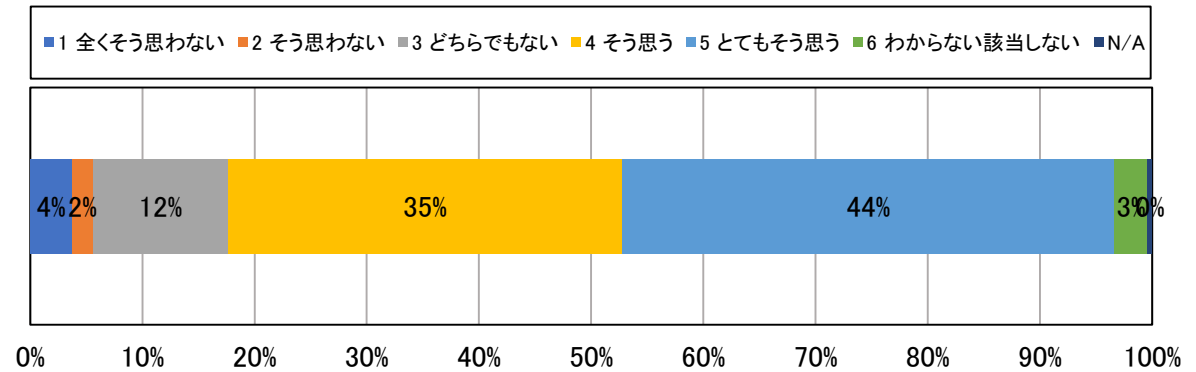


4.情報取得先 (複数回答 n=267)	YES度数	
1 テレビ・ラジオ	39	15%
2 五湖公式HP	87	32%
3 SNS	9	3%
4 その他インターネット	84	31%
5 新聞・雑誌	38	14%
6 ガイドブック	88	33%
7 友人・知人	31	12%
8 観光案内所やビジターセンター	34	13%
9 知床の宿泊施設	24	9%
10 その他	16	6%

- ・ガイドブックや五湖公式HPを含むインターネット経由で五湖の情報を入手した利用者が多かった。
- ・近年急速に普及しているtwitterやFacebook等SNSで五湖の情報を入手した利用者は極めて少なかった。

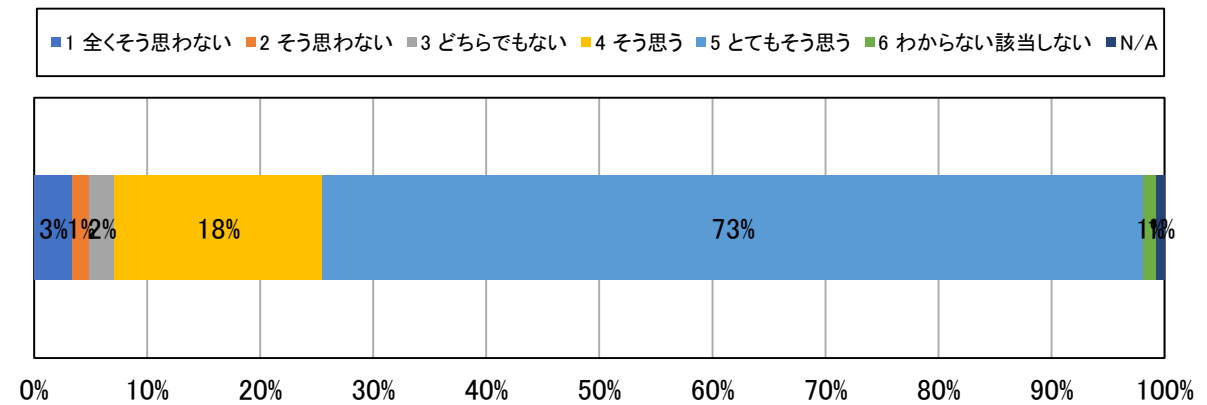


5-1.散策評価(情報充実度)	度数	構成比
1 全くそう思わない	9	4%
2 そう思わない	4	2%
3 どちらでもない	6	12%
4 そう思う	49	35%
5 とてもそう思う	194	44%
6 わからない該当しない	3	3%
N/A	2	0%
計	267	100%



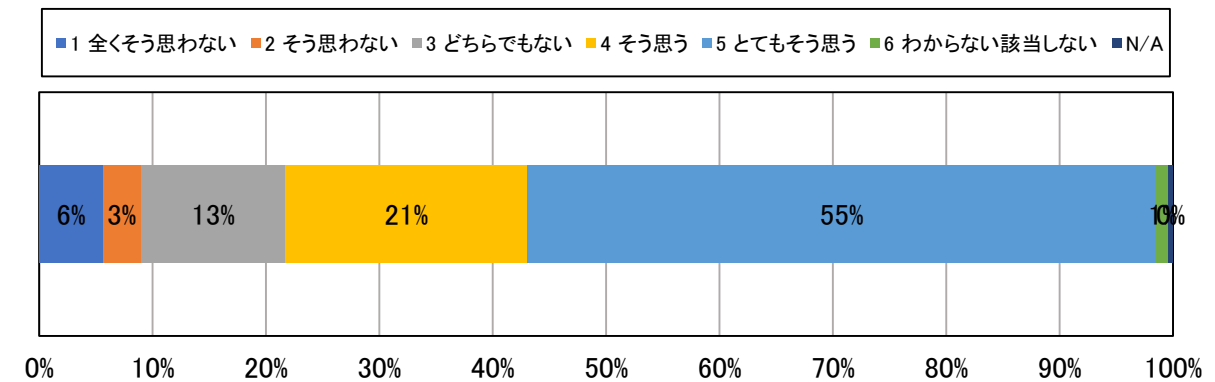
・利用者の約8割が園地内の案内看板やパンフレットの情報はわかりやすかったと回答。

5-2.散策評価(スタッフ対応)	度数	構成比
1 全くそう思わない	9	3%
2 そう思わない	4	1%
3 どちらでもない	6	2%
4 そう思う	49	18%
5 とてもそう思う	194	73%
6 わからない該当しない	3	1%
N/A	2	1%
計	267	100%



・利用者の約9割が五湖フィールドハウススタッフによるレクチャー等を含む利用に関する説明がわかりやすかったと回答。

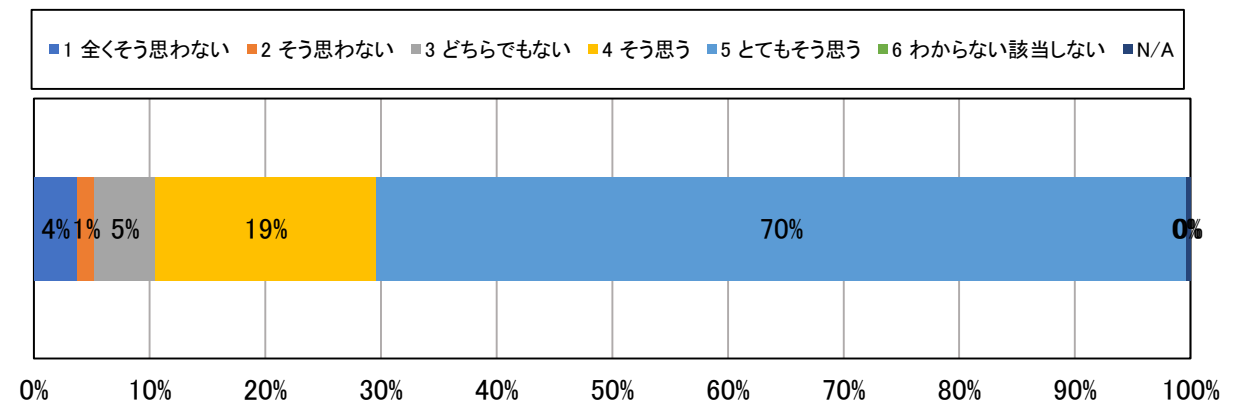
5-3.散策評価(ヒグマ認識)	度数	構成比
1 全くそう思わない	15	6%
2 そう思わない	9	3%
3 どちらでもない	34	13%
4 そう思う	57	21%
5 とてもそう思う	148	55%
6 わからない該当しない	3	1%
N/A	1	0%
計	267	100%



・利用者の約8割が地上遊歩道でヒグマに遭遇する可能性を自覚していたと回答。

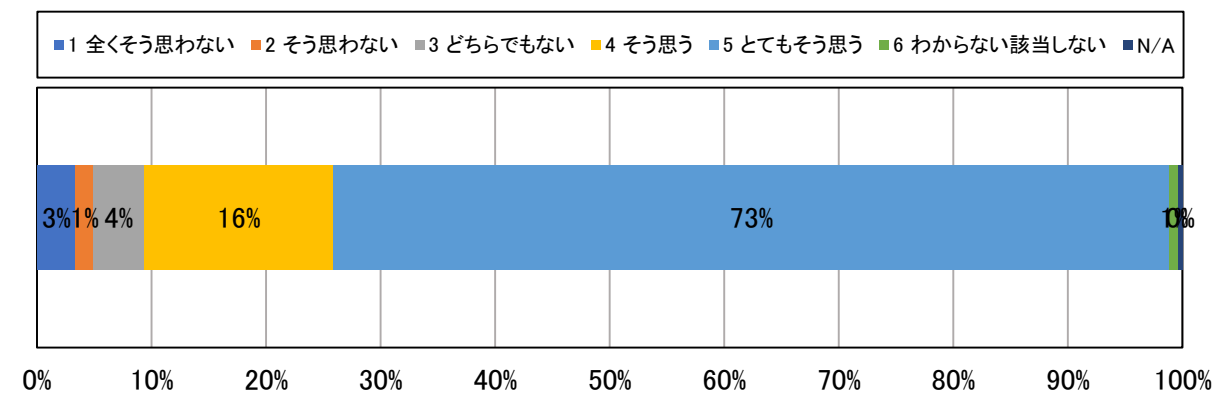
5-4.散策評価(静寂)	度数	構成比
1 全くそう思わない	10	4%
2 そう思わない	4	1%
3 どちらでもない	14	5%
4 そう思う	51	19%
5 とてもそう思う	187	70%
6 わからない該当しない	0	0%
N/A	1	0%
計	267	100%

・利用者の約9割が五湖の原生的で静寂な自然環境を楽しめたと回答。



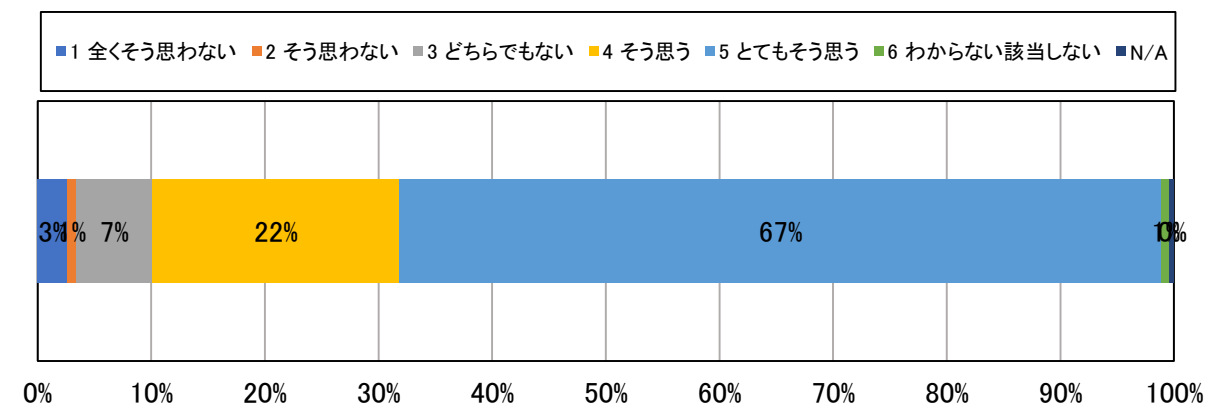
5-5.散策評価(再訪意思)	度数	構成比
1 全くそう思わない	9	3%
2 そう思わない	4	1%
3 どちらでもない	12	4%
4 そう思う	44	16%
5 とてもそう思う	195	73%
6 わからない該当しない	2	1%
N/A	1	0%
計	267	100%

・利用者の約9割が再び五湖に来訪したいと回答。

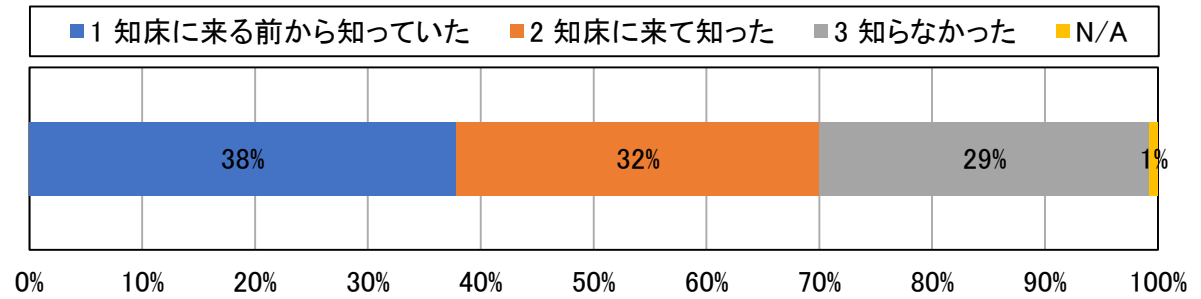


5-6.散策評価(紹介意思)	度数	構成比
1 全くそう思わない	7	3%
2 そう思わない	2	1%
3 どちらでもない	18	7%
4 そう思う	58	22%
5 とてもそう思う	179	67%
6 わからない該当しない	2	1%
N/A	1	0%
計	267	100%

・利用者の約9割が家族や親しい知人などに五湖を紹介したいと回答。



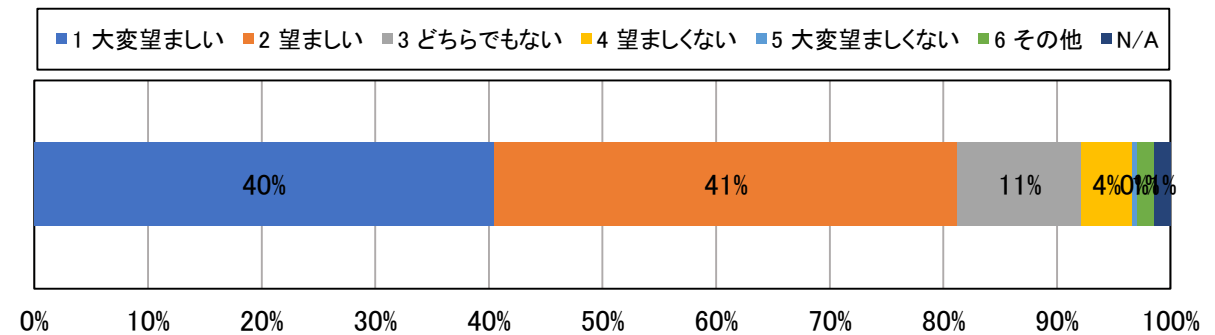
6.制度認知	度数	構成比
1 知床に来る前から知っていた	101	38%
2 知床に来て知った	86	32%
3 知らなかった	78	29%
N/A	2	1%
計	267	100%



・五湖に来訪するまで五湖の散策制度を認知していなかった利用者は全体の約3割であった。

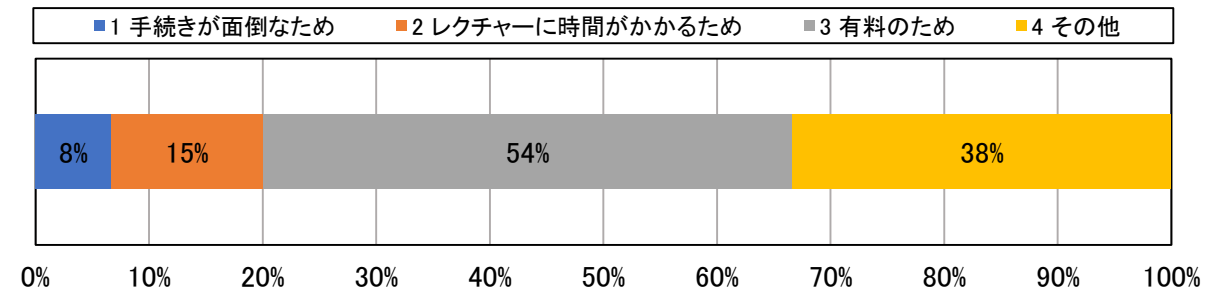
【制度改定について】

7.制度改定態度	度数	構成比
1 大変望ましい	108	40%
2 望ましい	109	41%
3 どちらでもない	29	11%
4 望ましくない	12	4%
5 大変望ましくない	1	0%
6 その他	4	1%
N/A	4	1%
計	267	100%



・植生保護期を閉園まで延長する制度改定を支持する利用者は全体の約8割であった。

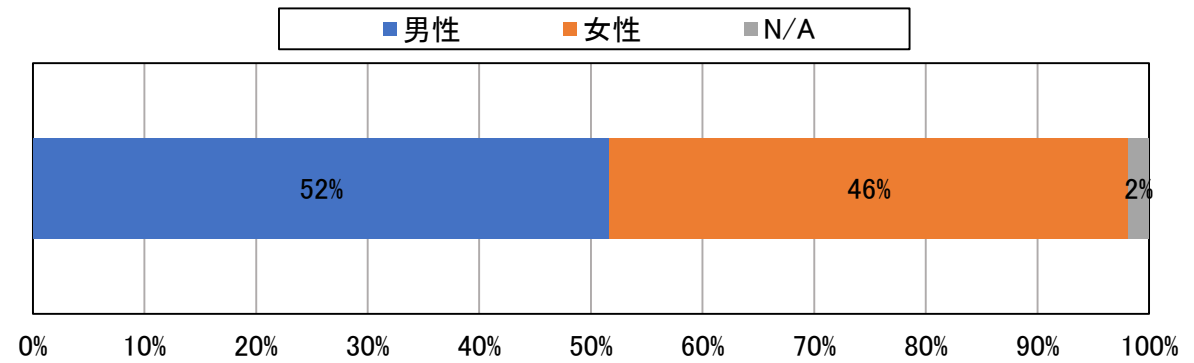
8.不支持理由(前問4.5回答者のみ) (複数回答 n=13)	YES度数	YES比率
1 手続きが面倒なため	1	8%
2 レクチャーに時間がかかるため	2	15%
3 有料のため	7	54%
4 その他	5	38%



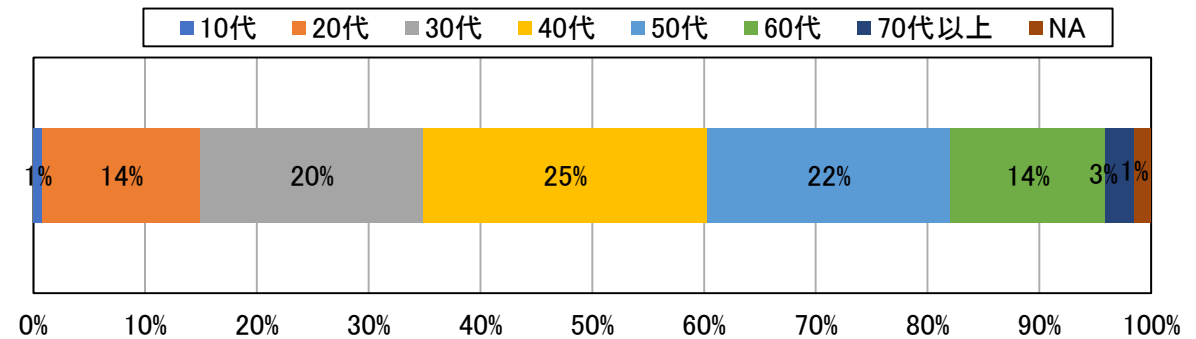
・認定手続きに際する負担費用の増加が制度改定の主な不支持理由であった。

【利用者の属性】

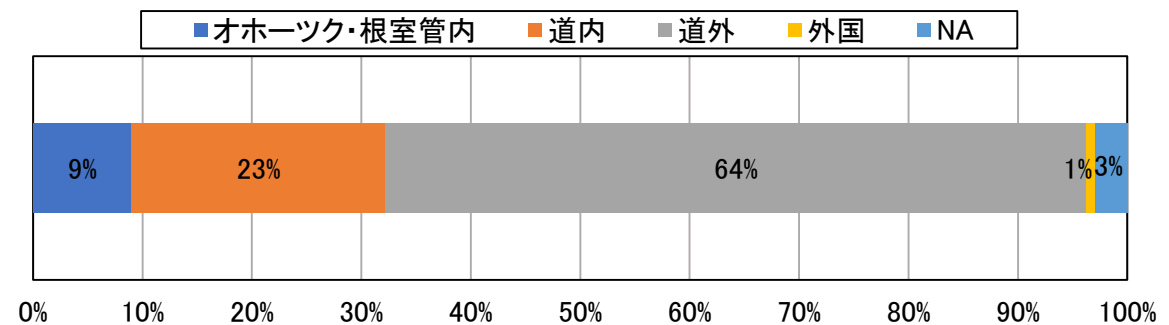
8-1.属性(性別)	度数	構成比
男性	138	52%
女性	124	46%
N/A	5	2%
計	267	100%



8-2.属性(年齢層)	度数	構成比
10代	2	1%
20代	38	14%
30代	53	20%
40代	68	25%
50代	58	22%
60代	37	14%
70代以上	7	3%
NA	4	1%
計	267	100%



8-3.属性(居住地)	度数	構成比
オホーツク・根室管内	24	9%
道内	62	23%
道外	171	64%
外国	2	1%
NA	8	3%
計	267	100%



・利用者の多くは道外からの来訪で、近隣に居住する利用者は全体の1割程度であった。